

高野七口學

「高野七口學」題字 弘法大師空海 筆 「聾瞽指歸」より

高野七口再生保存会

講師:木下浩良 高野山大学図書館課長心得、密教文化研究所事務室長心得

第Ⅰ部 開創1200年を節目に出版された

「高野山の秘密」(語り/元高野山奥之院維那

日野西眞定高野山大学名誉教授/扶桑社)を紐解く

この本で高野山について語る日野西眞定高野山大学名誉教授は、平成19年まで9年間、弘法大師に奉仕する「維那(いな)」という役目を務めてきた。「維那」とは、弘法大師空海に日々食事をお届けする役目のこと。朝、5時半に起床し、ご膳を出してお経をあげ、再度、10時半に昼のご膳を出す。高野山には、大師が今も生きて衆生を救ってくださっているという信仰がある。そのため、高野山奥之院の「御廟(ごびょう)」の拝殿へ、実際に季節の食事を運ぶ。高野山は1200年間、数知れない人々の信仰を受け、そして、今も、多くの人々が高野山に足を運ぶ。しかし、その信仰が成立するためには、巧妙な「仕掛け」といってもいいようなものがあった。その仕掛けは、日本人が古来持つ、自然観や宗教観に合致していたからこそ信仰に繋がった。弘法大師信仰が成立した理由とは？高野山の伽藍(がらん)に隠されている意味とは……？永遠の聖地の「秘密」について語られた著書を、出版に際して尽力された木下浩良講師が紐解きわかりやすくお話しいただきます。

第Ⅱ部

高野参詣「黒河道」ZOUJI・NOBORI(雑事のぼり)ウオーク
平成27年4月18日(土)の記録上映会(約45分)

第Ⅲ部

「戦国武将と高野山奥之院-石塔の 銘文を読む-」本論Ⅲ

日時：6月27日(土) 受付午後1時00分～ 講演等1時30分～4時30分

対象：会員及び一般

場所：橋本市保健福祉センター栄養指導室(洋室) 橋本市東家一丁目3-1

申込：不要

協力金：200円(資料代等)

その他：各単位の受講可。第Ⅲ部では、木下浩良著「戦国武将と高野山奥之院-石塔の銘文を読む」(朱鷺書房)をテキストとしますのでご持参願います。

テキストをお持ちでない方は、事前に下記までお問い合わせください。

問合せ：08014340985(高野七口再生保存会事務局)

皆様のご参加をお待ちしています。